

## 第5学年 総合的な学習 学習指導案

### 1, 単元名 環境について考えよう 「世界 環境子供会議を開こう」

#### 2, 単元目標

- 身の回りの環境に関心を持ち、それを意欲的に調べ、地球の環境保全を願うことができるようにする。(興味 関心 意欲)
- 環境問題が地球規模の問題であることを理解するとともに環境保全について考えることができるようにする。(思考 判断)
- 身の回りの環境問題や世界各地の環境保全への取り組みについて調べ、表現することができる。(表現)
- 必要な情報を電子掲示板で他の国の方と交流を行ったり地域の方にインタビューを行ったりしながら収集・蓄積(データベース化)し、多くの情報の中から必要な情報を選択することができる。(交流)

#### 3, 指導観

##### ○ こんな子供だから

子供たちは、社会科「私たちの暮らしと食料生産」で、食料生産に従事している人々が恵まれた自然環境を活かしたり、技術を工夫したりして生産を高めるため工夫や努力をしていることを理解してきた。また、「住みよいくらしと環境」では、国土の自然環境について問題意識をもち、公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さや国土の保全・水資源の浄化のための森林資源の働きを理解してきた。また、国語科の「一秒が一年を壊す」「ホテルの住む水辺」では、環境のために自分たちができることという議題に関して、自分の立場を明確にし、積極的に意見を伝え合う活動を行ってきた。これらの学習を通して、子供たちは、自然環境が生活に深い関わりを持っていることを意識し始めている。しかし、それらが自分の身の回りで起こっている問題としてとらえ切れてはいなかったり、自分の取り組みが環境保全につながるとの意識は十分とはいえない。

また、子供たちはこれまでの学習の中で、学習課題に対して自分の予想を持ち、資料をもとに意欲的に追求する姿が見られた。さらに本単元では、多くの情報の中から自分に必要な情報を選択・再構成し、表現する能力を身に付けさせたいと考える。そのことによって、環境問題が地球規模の問題であることを理解するとともに環境保全について考えることができるようになる。

本単元は、身の回りの環境に関心を持ち、調べていく中で環境問題が地球規模の問題であることを理解するとともに環境保全について考え、実践力を育成することをねらいとしている。

子ども達に身の回りの環境問題に目を向けさせ、その原因や取り組みなどについて考えさせることで、環境は様々な問題を抱えていることに気づかせたい。そして、環境保全への取り組みについて予想を持たせ、課題を追求する活動を行わせる。その中で、環境保全

に取り組む地域の人々や電子掲示板を活用した諸外国にすむ子供たちや専門的な知識を持った方との交流を行ったりすることで、環境問題が地球規模の問題であることを理解するとともに環境保全について考えることができるようになる。このことは今後、地球環境を支えていく子供たちにとって意義深い単元であると考えている。

本単元の指導にあたっては、社会科や国語科で学習した環境問題についての既習学習や地域の環境を振り返る中で学習問題を作り課題を追求する中で効果的に情報を活用し、環境保全について考え実践する力を育成することができるようにする。

< であう つかむ 過程 >

子供たちは環境問題について国語科や社会科で原因や現象について理解を深めている。しかし、それら環境問題を自分の身の回りで起こっている問題としてとらえ切れてはいない。

そこで、既習経験を振り返ることを通して、自分が追求したい学習課題を明確にしていく。さらにその課題をもとに地域の環境に目を向けさせ、環境問題が自分や地域の問題であることに気づかせていきたい。そうすることで、環境問題を自分自身の問題としてとらえることができ、環境保全についての興味関心を高めることができるようになる。

< 追求する 過程 >

追求の視点を明確にし、子ども達に調べる計画をたてさせるようにする。そして、追求の場面では、情報手段を選択し多くの情報の中から自分に必要な情報を選択・再構成し、表現する能力を身に付けさせたいと考える。そのために以下の方法で情報袖手を行わせるようにする。

- 課題を解決するために、地域に住む環境保全に取り組まれている人々にインタビューに行く。そのことで地域の環境問題に対する認識を深めさせるようにする。
- 日本各地で起こっている様々な現象や取り組みなど専門的な知識を持った方と電子掲示板やテレビ会議システム（YAHOO メッセンジャー）を活用した交流を行う。
- 環境問題が世界規模で起こっていることを実感させるために、電子掲示板やテレビ会議システム（NTTフェニックスミニ・YAHOO メッセンジャー）を通して諸外国に住む子供たちから様々な情報を収集を行う。
- 環境問題に関するホームページのリンク集を作成する。
- メールによる交流が可能な団体のリンク集を作成し交流を行う
- 教室前に環境に関する書籍をおいたコーナーを作り、活用できるようにする。

このように課題解決のために資料やインターネットを効果的に活用させたいと考える。また、自分の考えを深めたり、広めたりするために同じ課題について調べているグループでの交流活動を位置づけていく。

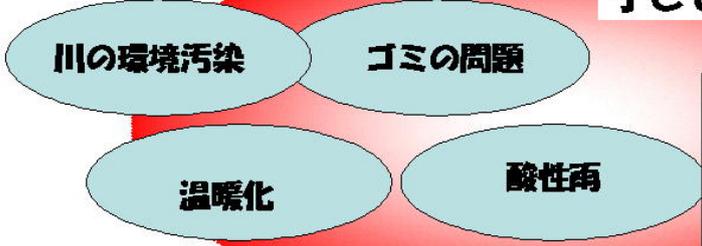
< ふりかえる 過程 >

調べたことをもとに、環境会議を持ち、現在の環境問題、それに対して自分たちがどのような取り組みを行うべきかを話し合いを行う。環境会議をテレビ会議を通して他の国の子供たちと行う中ことで、視点の違う考え方を知ることができ、環境保全の実践力の向上が図られると考える。また、環境会議で高めた環境保全への意欲を学校生活や家庭生活の中で活かせるようにしたい。

単元名「世界子ども環境会議を開こう」

第1次 身の周りの環境問題 (12時間)

子ども達の課題



- 調べ方
- ・書籍・インターネット
  - ・電子掲示板による交流
  - ・校内LANを活用したデータベースによる交流
  - ・地域で環境改善に取り組まれている方へのインタビュー

自分の身近な問題として捉え、調べていく。  
 <調べていく視点>

- ・ 問題の原因
- ・ 身近に見られる影響
- ・ 身近な人々の取り組み
- ・ 自分にも出来る取り組み

校内LANを活用したデータベースづくり (評価への活用)

**中間発表** (外国の子供たちと環境問題の実態について話し合う)  
 各国の環境の状況や取り組みについて交流する

- ・ 自分の地域・国では、今 こういう問題が起こっている
- ・ 自分の地域・国では、今 こういう取り組みがなされている等

テレビ電話  
フェニックス  
による交流

第2次 環境問題はみんなの問題 (13時間)

私たちの周りの環境問題  
**今、日佐に何が起きている？**

私たちにもできる環境改善  
**今、自分に出来ることは？**

日佐校区で起きている環境問題について調べる。

環境を守るために 今 自分が出来ることは何か について考え、取り組んでいく。

- 川の水質検査
  - ゴミ問題
  - 大気汚染調べ
- 等

- ゴミの減量化
  - 電気の節約
  - 水の節約
- 等

まとめ 環境会議を開こう (5時間)

自分達の取り組みや今後取り組んでいくべき事についての交流を行う。

テレビ電話「フェニックス」による交流または ビデオレター

## 5. 本時

平成15年1月27日 14:15～15:00 於 パソコンルーム

## 6. 本時のねらい

- グアムの子ども達と環境問題の現象や環境保全への取り組みについて意欲的に交流することができる。
- 地球上で起こっている様々な環境問題について知り、身近な問題としてとらえることができる。
- グアムの子ども達との交流を通して、互いの環境問題の現象や環境保全への取り組みの違いに気づかせ、環境問題への関心を高めることができる。

## 7. 本時指導の考え方

本時は、テレビ会議システムを利用し、グアムの子ども達と環境問題について交流を行い、環境問題が地球規模の問題であることや環境問題の現象・環境保全への取り組みがあることを理解することを通して、地域の環境に目を向け環境保全への意識を高める時間である。

子ども達はこれまでに、社会科や国語科での既習学習を活かし、環境問題について課題を持ち、その原因や取り組みについてインターネットや書籍、インタビュー活動などを通して追究活動を行ってきた。その中で子ども達は、環境問題は身近な問題であり、自分たちが住む地域でも起こっていることやその原因が生活の中にあることを感じ始めている。

そこで本時では、グアムの子ども達との交流を通して、環境問題には様々な現象や取り組みがあることを理解させていくことにする。

グアムは自然に恵まれ観光を主な産業とした島であり、住民一人一人が環境に対してとても強い関心を持っている。そのグアムの子ども達と交流を行うことで、様々な環境問題の現象や環境保全への取り組みにふれ、環境保全への意識はさらに高めさせたいと考える。

まず、グアムの子ども達との交流の目的について話し合うことを通して、本時のめあて「グアムの子ども達と私たちが調べた環境問題やその取り組みについて比べながら交流し、環境を護るために何ができるか考えよう。」について確かめる。

次に、テレビ会議システムを使用し、グアムの子ども達との交流を行うことにする。その中で、互いの国で見られる環境問題の現象や環境保全への取り組みについて発表を行う。子ども達がこれまで同じ課題のグループで調べてきた「酸性雨」「ゴミ問題」「川の水質汚染」「温暖化現象」等について発表を行う。また、グアムの子ども達が発表する際には、自分達が調べてきたこととの共通点や相違点について意識させながら聞かせ、必要なことはメモをとらせるようにする。

そして、互いの国の取り組みを比べながら聞くことで、環境問題は世界各地で起きていることや環境保全のために世界では様々な取り組みがされていることに気づかせたい。その中で、自分たちにもできる取り組みがあるのではないかという予想を持たせ、環境保全へ御関心を高めさせたいと考える。

8, 本時の展開

学習活動と内容	評価	支援
<p>1, 前時を振り返りめあてを確かめる。</p> <p>○ グアムの子ども達との交流の目的について、話し合う</p> <p>本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>私たちが調べた環境問題とグアムの環境問題やその取り組みとを比べながら聞き、交流しよう。</b></p> </div> <p>2, 調べてきたことをもとに、地域や日本で起こっている環境問題について話し合う。</p> <p>(1) 日本各地や地域で起こっている環境問題やその取り組みについてグアムの子ども達に発表をする。</p> <p>○ 「酸性雨」「ゴミ問題」「川の水質汚染」「温暖化現象」等について、写真などを活用し、聞き手にわかりやすいように発表を行う。</p> <p>(2) グアムで起こっている環境問題の現象やそれに対する取り組みについての発表を聞く。</p> <p>○ 自分が調べてきたこととグアムからの発表を比べながら聞き、環境問題やその取り組みの相違点や共通点について大事なことはメモをとりながら聞く。</p> <p>3, 環境問題の現象や環境保全への様々な取り組みについて交流したことを振り返り、環境保全への行動について話し合う。</p> <p>(1) 互いの国の取り組み方の共通点や相違点について話し合う。</p> <p>○ メモをとったプリントを見直す中で、それぞれの環境問題やその取り組みの相違点や共通点について考える。</p> <p>○ 様々な現象を振り返り、日佐校区で起こっている現象や家庭での取り組みについて考える。</p>	<p>○ 交流する目的がはっきりしている。</p> <p>○ 聞き手を意識して話すことができる。</p> <p>○ 話し手の発表をプリントにメモをとりながら聞くことができる。</p> <p>○ 互いの取り組みを比べることができる。</p> <p>○ 身近な環境を振り返ることが出来る。</p> <p>○ 自分にもできそうな取り組みについて予想することができる。</p>	<p>○ これまでの学習を掲示物として教室の側面にかけておき、子ども達が学習を振り返りやすうにする</p> <p>○ テレビ会議システムの利用については教師が行う。</p> <p>○ 言語の違いがあるため、通訳を入れて交流を行う。</p> <p>○ 1枚のプリントの中で、比較できるように構成を工夫下ものを活用させる。</p> <p>○ 共通点や相違点について発表したことを板書し、意識させる。</p>

○ 様々な取り組みを振り返り、自分にもできる取り組みについて考える。

4, 次時の学習について聞く

○ 自分たちにできる取り組みや身の周りの人が取り組んでいることについて調べることが確かめる。